

川田テクノロジー株式会社(3443) 2024年3月期第2四半期 決算説明会

2023年11月27日 15:00～

おかげさまで川田グループは
2022年5月に創業100周年を迎えました。

過去も、現在も、これからも
川田グループは「いつの時代にも技術をもって社会に貢献すること」を使命とし、
さらなる「安心して快適な生活環境の創造」を進めてまいります。



本日の内容

■ 第一部

2024年3月期 第2四半期業績

2024年3月期 業績見込 ※11/10修正開示あり

■ 第二部

川田テクノシステムのご紹介

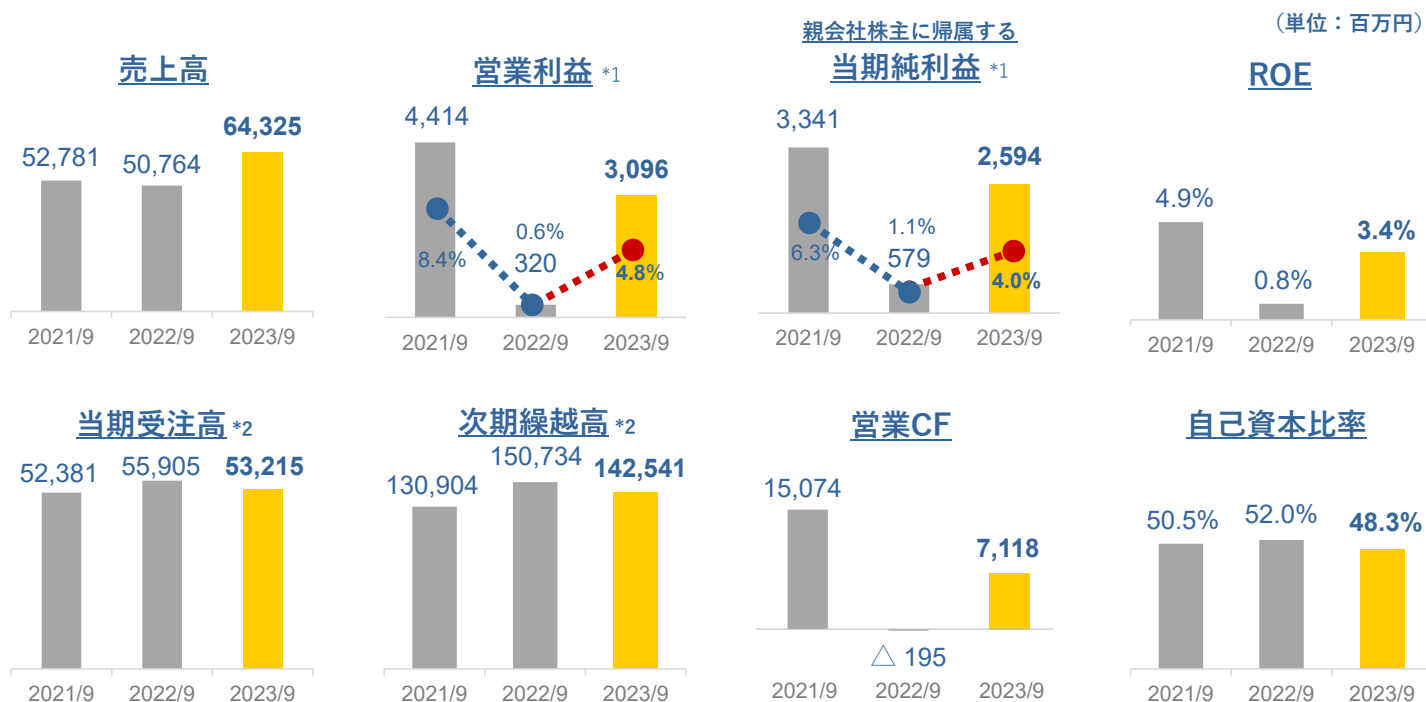
(ソリューションセグメントより)

2024年3月期 第2四半期業績

2023/11/27

- 2 -

決算のポイント



*1 折れ線グラフはそれぞれ売上高に対する比率を示します

*2 セグメント間の取引については相殺消去していません

2023/11/27

- 3 -

大型物件を中心に工事が順調な進捗し売上高増加
2Qまでの設計変更獲得により、各段階利益も前年同期比で大幅増加

	2022/9	2023/9	(単位：百万円) 増減
売上高	50,764	64,325	26.7%
売上総利益	5,583	8,507	52.4%
営業利益	320	3,096	866.6%
経常利益	1,109	3,695	233.1%
うち、持分法投資利益	842	743	△11.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	579	2,594	347.3%

売上高・営業利益(セグメント別)

建築で複数の大型案件が進捗し売上が回復、土木とともに採算性も改善し大幅増益。ソリューションは安定的な成長を継続

	売上高			営業利益		
	2022/9	2023/9	増減	2022/9	2023/9	増減
鉄 構	24,499	27,901	13.9%	1,719	798	△53.6%
土 木	15,678	18,151	15.8%	27	1,372	4,952.4%
建 築	4,627	11,427	146.9%	△960	1,137	-
ソリューション	2,879	3,567	23.9%	876	1,367	56.0%
その他	3,820	3,992	4.5%	△78	△255	-

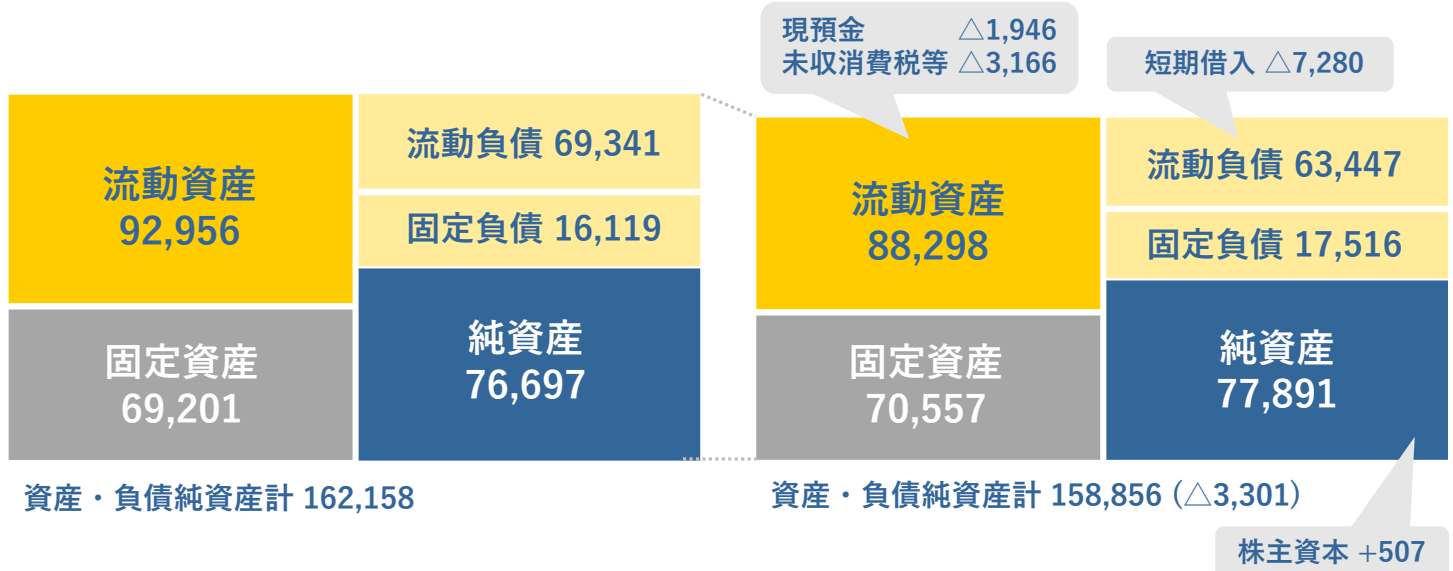
※セグメント間の取引については相殺消去していません

売上債権回収・消費税還付で、短期借入を一旦返済

2023年3月期

2023年9月末

(単位：百万円)

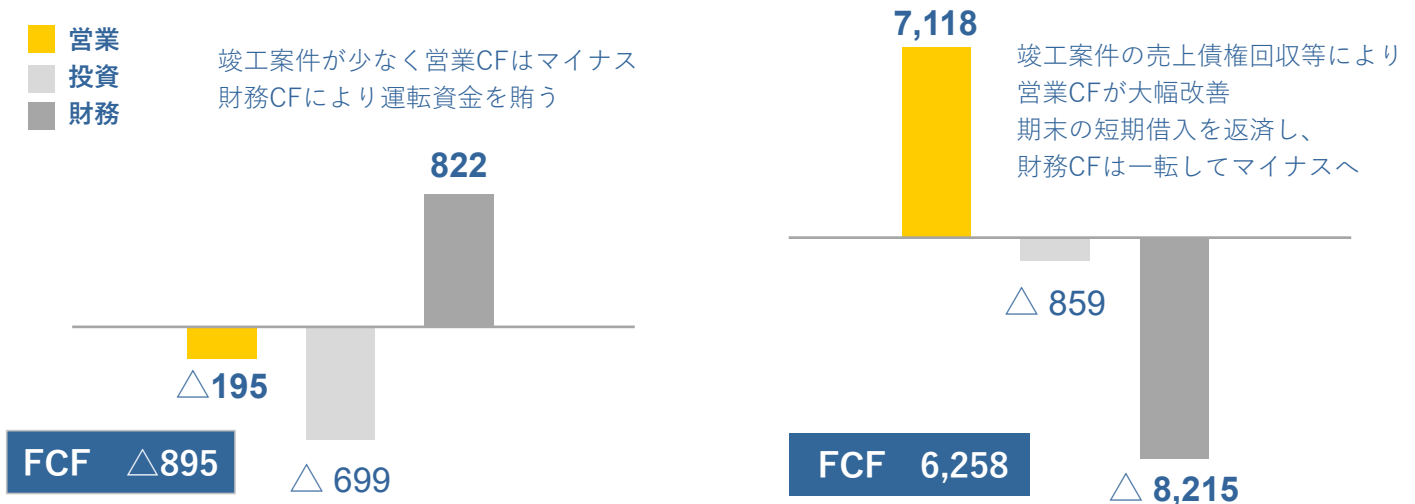


売上債権等の回収が進み営業CFが改善、短期借入を一旦返済

2022年9月末

2023年9月末

(単位：百万円)

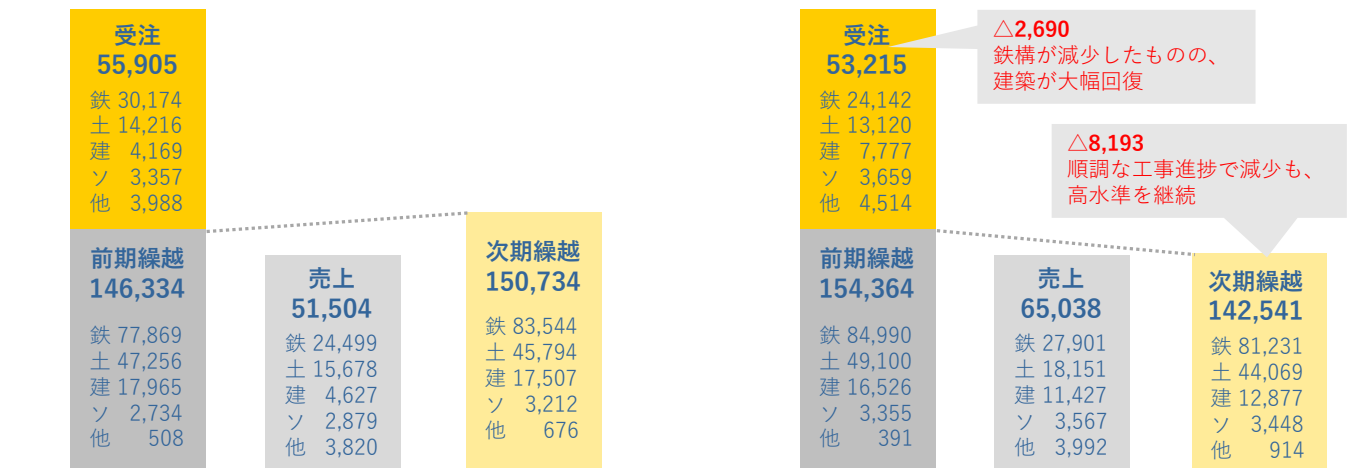


前期から豊富な繰越、次期への繰越も高水準

2022年9月末

2023年9月末

(単位：百万円)



※セグメント間の取引については相殺消去していません

2024年3月期 業績見込

※11月10日修正開示

受注状況サマリー（見込）

高い前期繰越、引き続き堅調な受注。当期末も高い繰越高を維持

2023年3月期

2024年3月期 見込 (単位：百万円)

2023年3月期			2024年3月期 見込		
受注 127,657 鉄 63,192 土 36,879 建 12,719 ソ 6,992 他 7,873	前期繰越 146,334 鉄 77,869 土 47,256 建 17,965 ソ 2,734 他 508	次期繰越 154,364 鉄 84,990 土 49,100 建 16,526 ソ 3,355 他 391	受注 125,500 鉄 54,500 土 36,000 建 18,500 ソ 7,500 他 9,000	前期繰越 154,364 鉄 84,990 土 49,100 建 16,526 ソ 3,355 他 391	次期繰越 150,364 鉄 76,490 土 52,100 建 17,526 ソ 3,555 他 691
			※当初見込 売上 135,000	繰越 144,864 鉄 75,490 土 50,100 建 15,026 ソ 3,855 他 391	
			売上 119,626 鉄 56,071 土 35,035 建 14,158 ソ 6,371 他 7,989	売上 129,500 鉄 63,000 土 33,000 建 17,500 ソ 7,300 他 8,700	

※セグメント間の取引については相殺消去していません

P/Lサマリー（見込）

売上高は進捗・着工遅れ等により減少を見込むが、各種利益は増加へ

	2024/3 当初見込	2024/3 修正見込	増減
売上高	133,000	128,000	△5,000
売上総利益	15,600	17,400	1,800
営業利益	4,600	6,400	1,800
経常利益	5,100	6,900	1,800
うち、持分法投資利益	900	900	
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,900	4,700	800

(単位：百万円)

セグメント別 売上高・営業利益（見込）

鉄構・建築において、設計変更や原価改善を見込み増益修正

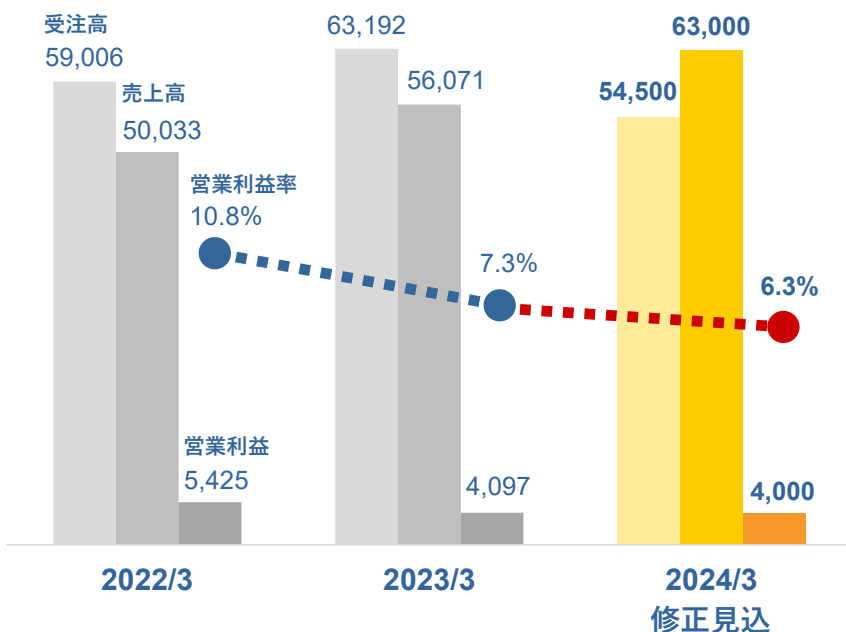
(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2024/3 当初見込	2024/3 修正見込	増減	2024/3 当初見込	2024/3 修正見込	増減
鉄 構	64,000	63,000	△1,000	3,000	4,000	1,000
土 木	35,000	33,000	△2,000	1,750	1,750	0
建 築	20,000	17,500	△2,500	150	1,250	1,100
ソリューション	7,000	7,300	300	2,350	2,500	150
その他	9,000	8,700	△300	△150	△500	△350

※セグメント間の取引については相殺消去しておりません

【鉄構】 受注・売上・営業利益（見込）

(単位：百万円)



2024年3月期見込

受注高 54,500
 売上高 63,000
 営業利益(率) 4,000 (6.3%)

鋼製橋梁事業

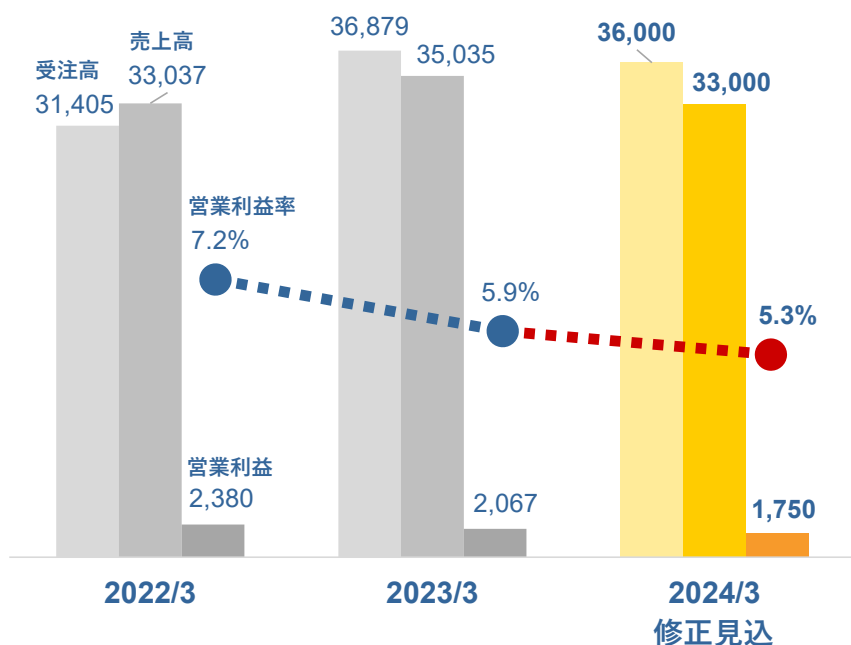
新設に加え更新・保全の市場も急拡大、需要取り込みへ努力。大型新設プロジェクトも期待

鉄骨事業

首都圏再開発やデータセンター、半導体工場の国内回帰に伴う大型物件の安定受注を見込む

【土木】受注、売上、営業利益（見込）

（単位：百万円）



2024年3月期見込

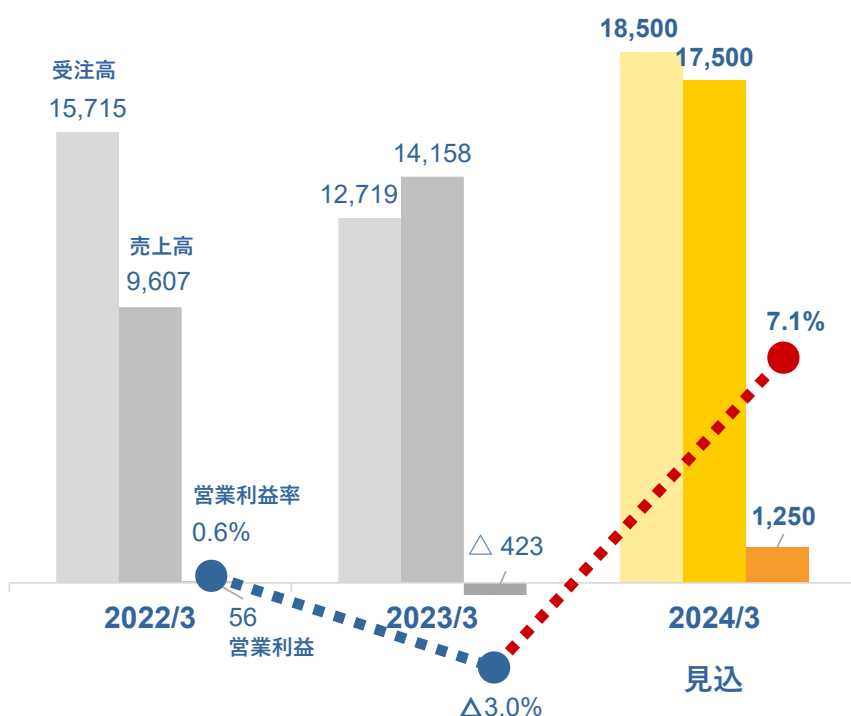
受注高 **36,000**
 売上高 **33,000**
 営業利益(率) **1,750 (5.3%)**

「新設」から「更新・保全」への市場シフトが顕著

物件の大型化、競業他社参入増により受注は難しさを増すが、リスクを適切に管理しながら、旺盛な需要を取り込みつつ利益効率の向上を目指す

【建築】受注、売上、営業利益（見込）

（単位：百万円）



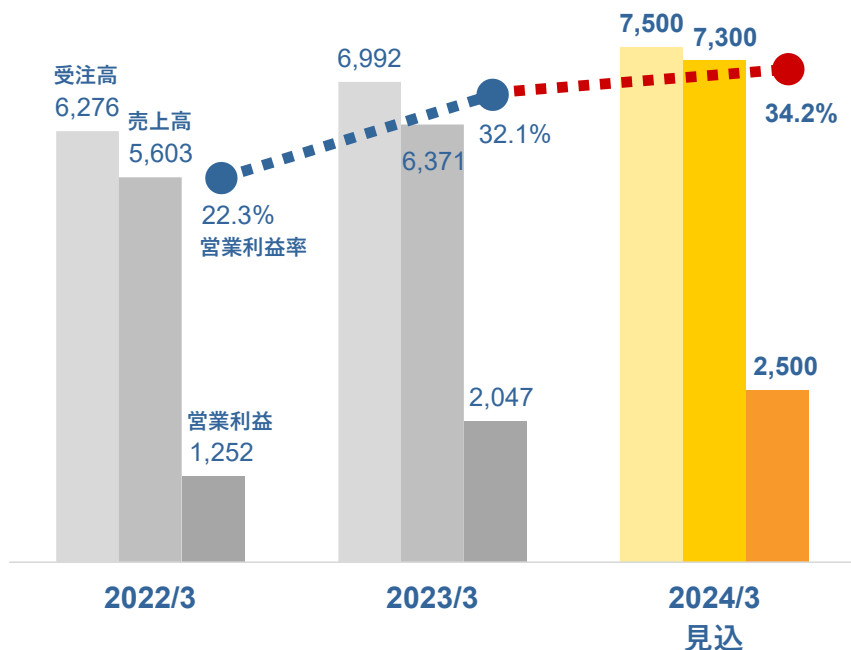
2024年3月期見込

受注高 **18,500**
 売上高 **17,500**
 営業利益(率) **1,250 (7.1%)**

得意とするシステム建築工法で、物流倉庫市場の旺盛な需要を今以上に取り込む

前期の急激な建設コスト上昇で採算の悪化した物件の竣工、設計変更獲得で、当期中に黒字回復基調へ

（単位：百万円）



2024年3月期見込

受注高 7,500
 売上高 7,300
 営業利益(率) 2,500 (34.2%)

ソフトウェア関連事業

国交省が推進するBIM/CIMの取り組みを背景に、これまでの3次元CADソフト事業に加え、クラウドサービス事業が特に好調

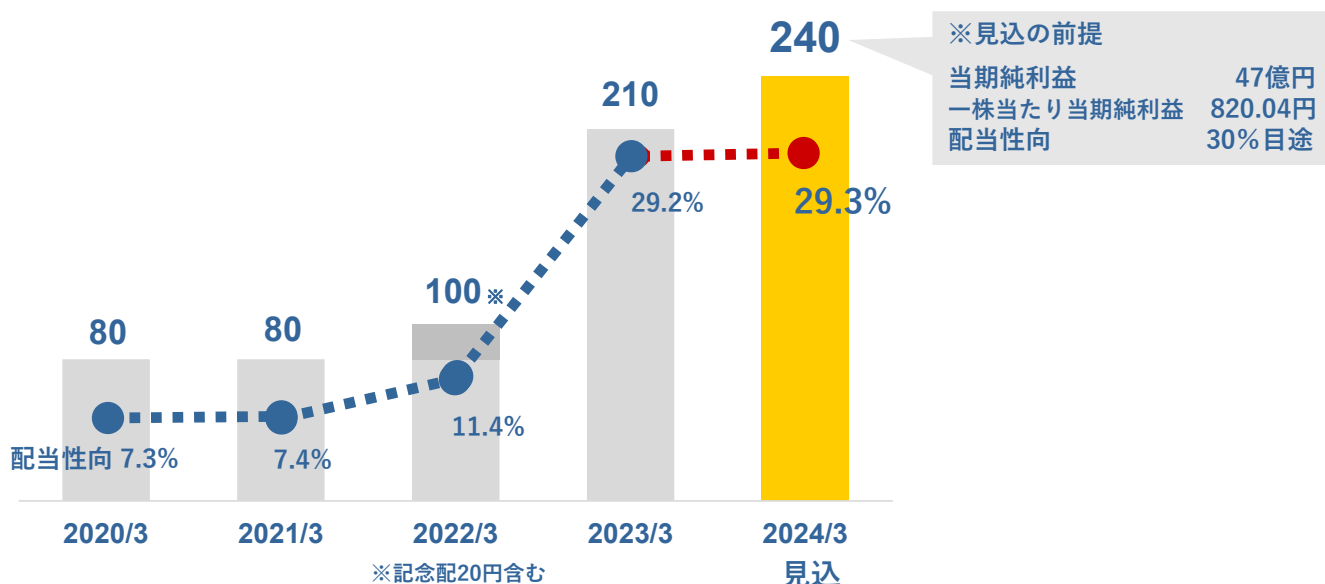
ロボット関連事業

固定費削減でコスト構造スリム化、新製品Fillieの積極市場展開で早期の黒字化を目指す

期末配当（見込）

当期末配当は、一株当たり240円の見込み

（単位：円）



※見込の前提
 当期純利益 47億円
 一株当たり当期純利益 820.04円
 配当性向 30% 目途

※記念配20円含む

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断または考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、業界の市場動向、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

～お問合せ先～

川田テクノロジーズ株式会社 経営管理部 ir.kti@kawada.jp

 KAWADA technologies

Knowledge Technology Science

川田テクノシステム株式会社

- ◇会社概要
- ◇事業概況
- ◇事業展開

会社概要

情報サービスコンサルタント

KTS

Knowledge
Technology
Science

設立：1970年
営業所：札幌、仙台、名古屋
大阪、福岡
社員数：170名（'23.09.30）
売上高：59.5億円（'23.3）
TEL2022-149266
情報サービスコンサルタント



2014年設立（札幌）
シグマインキュベーション社
◇当社製品の開発
◇社員数20名



2018年設立（東京、福岡）
オペレーションパートナーズ社
◇BIM/CIMモデル作成
◇お客様サポート
◇社員数49名

- ◇平均勤続年数 : 14.6年 *吸収合併した社員除く
- ◇平均年齢 : 40.2歳
- ◇12年間定着率 : 87.7% *11-23年まで採用した社員対象
- ◇有休取得率 : 74.4%
- ◇平均残業時間 : 20.8時間

建設DXにおいて、3次元モデルを活用し生産管理の効率化と高度化を図る取り組みの呼び名

本社
千代田区神田須田町1-25
JR神田万世橋ビル12階&13階

事業概況

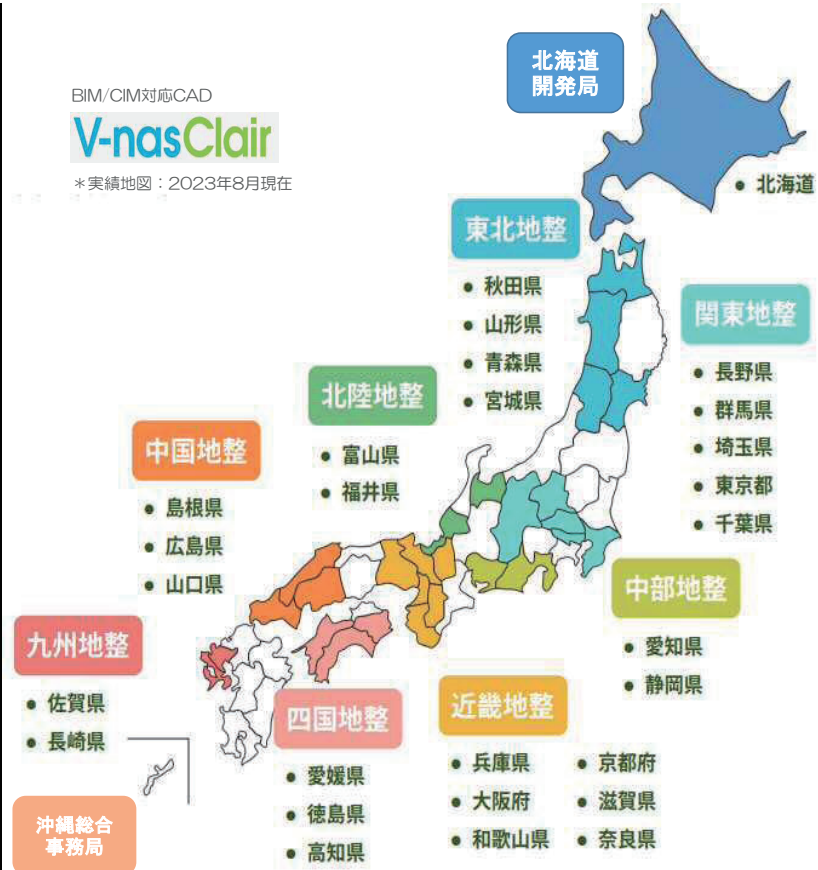
- ◆国内唯一の建設DXソリューション
- ◆国交省全地方整備局 →100%
- ◆他中央官庁
- ◆28都道府県 →60%

*BIM/CIM活用ゼロの自治体20 (R4年度)

BIM/CIM対応CAD

V-nasClair

*実績地図：2023年8月現在



業績の近況

115% 平均成長率

- ◇サブスクリプション効果
- ◇BIM/CIM効果 (新規客開拓)
- ◇商談単価

40% 経常利益率

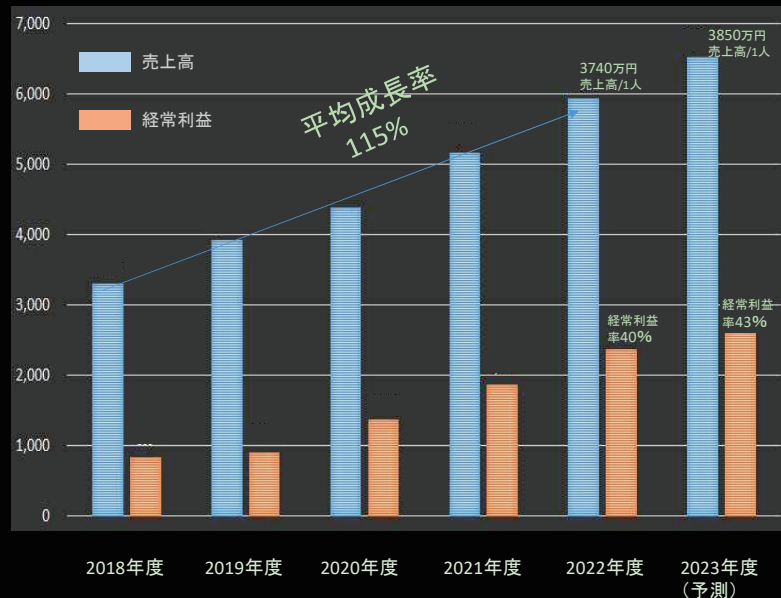
- ◇自社製品事業の成長
- ◇子会社設立効果

3740万円 1人当たり売上高

- ◇労働集約型ビジネスの転換
- ◇人材獲得と能力開発の効果

事業概況

単位：百万円



◆中央官公庁・自治体のBIM/CIMおよびDX

- ・保管管理、オンライン電子納品（コンサルティング、SI）
- ・情報共有システム（basepage）
- ・3次元ソリューション（VnasClairシリーズ）
- ・防災減災、災害対策（SI）

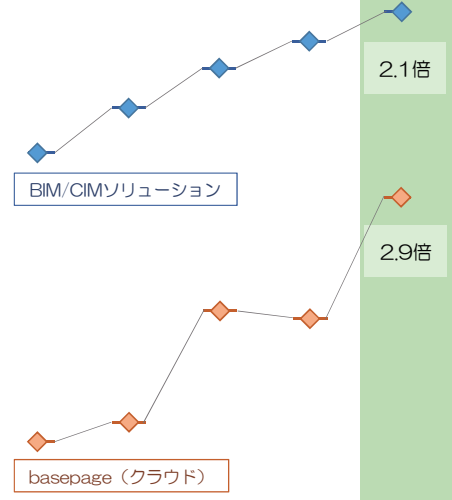
◆地方建設コンサルタントのBIM/CIM

- ・自治体のBIM/CIM推進に追随（VnasClairシリーズ）
- ・災害等調査業務のDX（basepage）
- ・維持管理業務のDX（basepage）

自社製品分野の成長

2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023予測

*2019年を1とする



私たちの3つの開発テーマ

「情報共有」「情報表現」「協働設計」

独創と革新

- ◇従前ではできなかったことをできるようにすること
- ◇従前と比較して劇的に効率向上し収益貢献すること
- ◇これまでに体験したことのないことを現実化すること

Technology
& Science

DXルーム -新体験-

DX-SPACE -協働設計-

空間情報のデジタル化 -Technology & Science-

Knowledge Technology Science



情報サービスコンサルタント
川田テクノシステム株式会社